

第11回天気予報研究会開催のお知らせ

第11回天気予報研究会では、2013年1月14日の関東地方の大雪を中心に、大雪の予報と気象急変時の監視と伝達についての研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載する予定です。

日時：2014年2月14日（金）13時30分～17時30分

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

発表題目（順不同）：

1. 「2013年1月14日の大雪事例の検証を踏まえた予報作業の実例の紹介」
岸本 賢司（気象庁予報部予報課）
2. 「冬季南岸低気圧の降雪の解析から得られた数値予報モデルの特性」
倉橋 永（気象庁予報部数値予報課）
3. 「大雪予想時の民間気象会社の対応について」
吉田 直人（(財)日本気象協会）

4. 「WebGISを活用した降雪情報の開発」
中山 秀晃（日本気象予報士会東京支部）
5. 「成人の日の東京、初雪が 大雪・吹雪で大混乱」
伊藤みゆき（NHK ラジオ気象キャスター）
6. 「東京国道事務所における雪氷対策時の気象情報の活用について」
今田 智也（国土交通省東京国道事務所）
7. 「降雪と航空機運航」
坂本 圭（全日本空輸(株)）
8. 「首都圏大雪時の道路交通情報の収集提供について」
齋藤 辰哉（(公財)日本道路交通情報センター）

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：下山紀夫（日本気象予報士会）
n-shimoyama@nifty.com